

2011年3月25日

報道各位

日本空港ビルディング株式会社

## 羽田空港国内線 第2旅客ターミナル 3階 ディスカバリーミュージアム 第3回企画展について

日本空港ビルディング株式会社は、昨年10月13日(水)に供用開始いたしました第2旅客ターミナル本館南側拡張部分3階に国内空港初となる空港内美術館「ディスカバリーミュージアム」を開設し、ご利用のお客様からご好評をいただいております。

次回第3回の企画展は、「和敬清寂<sup>わけいせいじやく</sup>～茶席 千利休展～」と題して「利休が現代に生きていたら、どのように人をもてなすだろうか」という趣向で、永青文庫<sup>ちやうせいこ</sup>※秘蔵の利休自作の茶杓<sup>ちやしやく</sup>《ゆがみ》、利休が愛した《三島磨手茶碗<sup>みしまこよみてぢやわん</sup>》など、利休ゆかりの茶道具を展示いたします。

ディスカバリーミュージアムに広がる利休の教えを感じ、「誰かを大切におもてなしする」「誰かに大切にもてなされる」とはどういうことなのか、自分自身に問いかけ、「おもてなしの心」をディスカバリー（発見）してください。

### 記

1. 次回企画展 「和敬清寂～茶席 千利休展～」(入場無料)

2. 期 間 2011年4月16日(土)～2011年7月18日(月)(期間中無休)

※展示替え作業のため、4月4日(月)～4月15日(金)まで休館させていただきます。

3. ディスカバリーミュージアム概要

(1) 場 所 第2旅客ターミナル3階 南側

(2) 開館時間 平 日 11:00～18:30(最終入場18:00)

土日祝祭日 10:00～18:30(最終入場18:00)

(3) ホームページ <http://www.discovery-museum.com>

以 上

※ 永青文庫・・・700年の歴史を持つ細川家の至宝を管理し、国宝8点、重要文化財31点をふくむ、およそ6,000点の美術工芸品と50,000点以上にのぼる歴史文書を所蔵している美術館。

【 本件に関するお問い合わせ先 】  
日本空港ビルディング株式会社  
事業開発・運営本部  
事業運営部 広告・イベント課  
電 話 (03) 5757-8520

【主要作品】



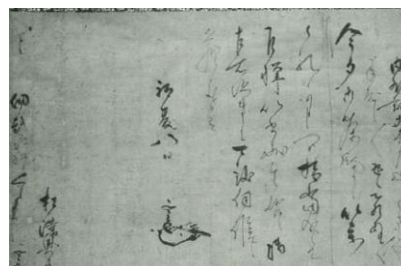
ちやしやく  
千利休作 茶 杓 銘 ゆがみ (桃山時代)  
秀吉の命で堺へ塾居することになった利休を見送ったのは、細川三斎と古田織部。利休はそれぞれに自作の茶杓を贈った。



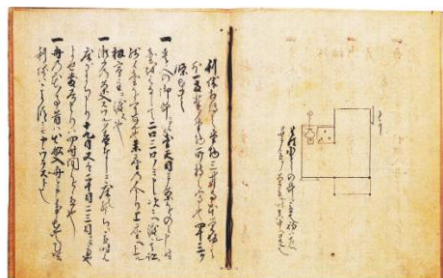
いっきゅうそうじゆん しちぶつつかいげ  
一休宗純 筆 七仏通戒偈 (室町時代)  
「とんちの一休さん」として親しまれる一休宗純の書。この一休の書を買って求めたのは、細川三斎。脇に「善」と書き加えたことが「数寄に入っている」と褒めたのは利休であった。  
展示期間：7月12日～7月18日



みしまこよみてちやわん  
三島曆手茶碗 (朝鮮王朝時代)  
千利休が愛した高麗茶碗。江戸時代前期の大名茶人、小堀遠州が箱の表に「三島」と記す。



伊達政宗書状 (細川三斎宛) (江戸時代)  
元和5年(1619)4月に、伊達政宗が細川三斎に出した、茶事の謝状。仙台62万石を領した、独眼竜、伊達政宗は、三斎と肩を並べる「大名茶人」として知られる。  
展示期間：4月16日～5月30日



ほそかわさんさいひつ すききぎ  
細川三斎筆 数寄聞書 (江戸時代)  
細川三斎(忠興)は利休の高弟として名高い。三斎は利休から点前を伝授された最後の茶人として、同時代の人々に利休の茶を伝え、その点前を忠実に守ることを命じている。



※作品保護のため展示期間を限定する作品がございます。